

## 「識字学級」から学ぶ

### 1 目標

- (1) 文字を知らないことの持つ問題点を知り、奪われた文字を取り戻そうとする人々の思いに共感することができる。
- (2) 奪われた文字を取り戻そうとする識字学級生の生き方と自分を重ね、これからの自分の生き方を考える。

### 2 学習計画(全2時間)

- (1) 校内オリエンテーリング(1時間)
- (2) 識字学級から学ぶ(1時間)

### 3 展開

- (1) 校内オリエンテーリング(1時間)

学習活動	留意点
1 「校内オリエンテーリング」を体験する。	<b>資料1 ルールやり方説明表(P138)</b> <b>資料2 ルートマップ</b> <b>資料3～5 ワークシート(P139～141)</b> <b>資料6 日本語ハングル対比表(P142)</b> ルートや実施方法は、日本語で表記し説明する。目的地についてはハングルで表記する。
2 感想を発表する。	文字が読めないことの困難さに気づくと思われる。

- (2) 識字学級から学ぶ(1時間)

学習活動	留意点
1 今、日本に識字学級があることを確認する。	生徒の発言を引き出してもよいし、授業実践者が提示してもよい。
2 識字学級生の人生・思いを学ぶ。 (1) 識字学級生の作文を読む。 (2) 感じたことを発表する。 (3) なぜ文字を奪われていたのか、その理由を考える。 (4) 文字を奪われるということは、字が読めないだけでなく、他にどんな弊害があるかを考える。 (5) 文字を獲得し、生活がどう変化したかを考える。	<b>資料7 「タヤけがうつくしい」(P45)</b>  <b>資料8 「がんばろう」「ただ一つのみち」(P143～144)</b> を配布し読ませる。 展開については、グループの代表が発表してもよいし、クラス討議形式で展開していてもよい。 文字を奪われた背景に部落差別があることに気づかせる。
3 識字学級生の思いや生き方から学んだこと、また自分の中で変化したことについて発表する。	他者の生きざまを学び、自分と重ねられるように支援する。
4 まとめ	

#### 資料1：ルールやり方説明表

- (1) ハングルを使ったオリエンテーリングを行うことを伝える。
- (2) 資料3・4・5のワークシートを配布する。
- (3) 資料1のルールを説明する。
- (4) 各所(ポイント)に人を配置する。5人必要なので、教職員または生徒に依頼する。なお担当者には事前に実施方法を伝えておく。
- (5) オリエンテーリング開始。
- (6) 最終ポイントの保健室では、数枚の「薬カード」から指示された「カゼ薬」カードを選ぶ。
- (7) ゴールで「カゼ薬」カードを持ち帰ったかを教員が確認し、すべての班がゴールして、オリエンテーリング終了とする。

#### 事前に準備しておくこと

- (1) 各校の校内見取り図を班数分、印刷しておく。
- (2) 班毎にルートを違えた「ルールやり方説明表」を作成しておく。
- (3) 資料5の指示カードをポイント毎に準備しておく。その際、保健室では必ず「指示カード5」を使用すること。なお、他の4ポイントでは、ポイント毎に指示カードの内容が一緒のものを使用しても、内容が異なる指示カードを使用して班毎に指示がかわっても、どちらでもかまわない。
- (4) 「薬カード」を班の数分印刷しておく。なお、カードを空き缶などに貼り付けて準備してもよい。

#### 資料2 ルートマップ

実施校の校内見取り図を班数分コピーし、各班に配布してください。

資料3 ワークシート1

次のシートを班数分用意して配布する。

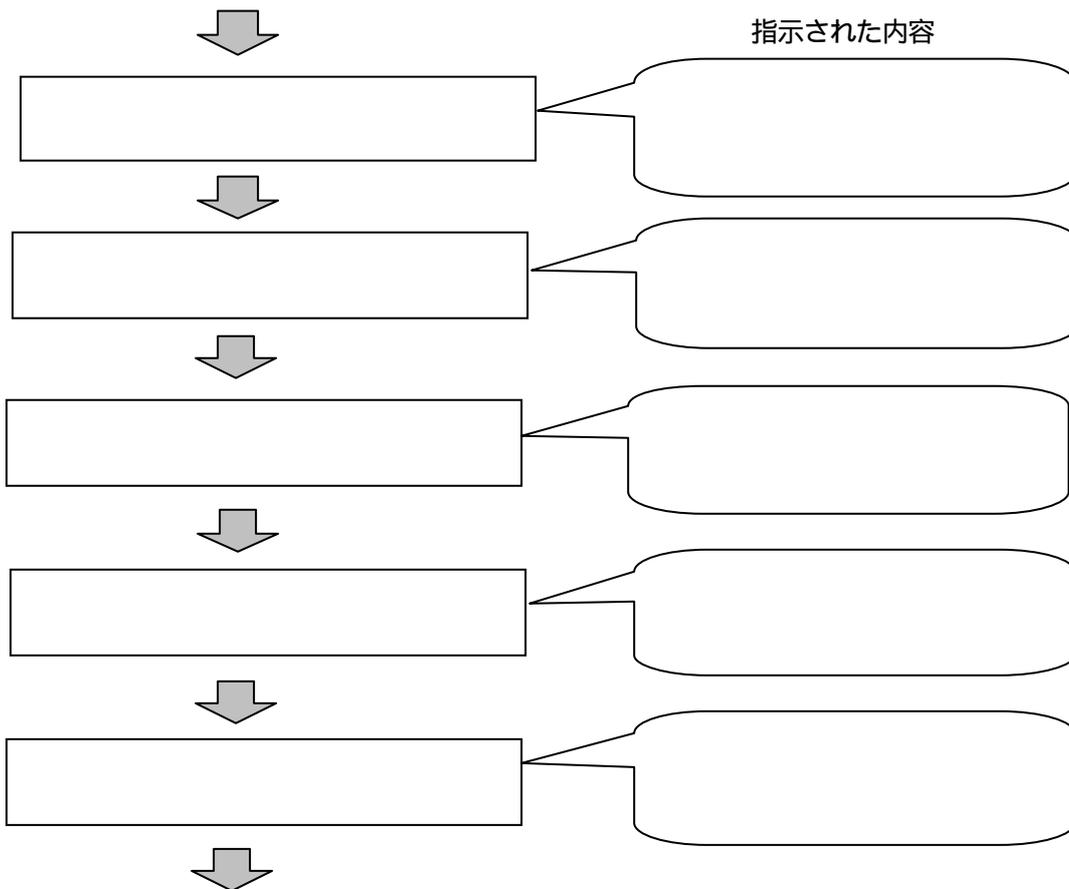
## ( ) 班のルートです

### ルール

- (1) 原則として、ハングル文字の表記は、日本語読みをハングル五十音表記で置き換えたものです。
- (2) 下の順番通りに各所(ポイント)に行き、指示された内容を行ってください。なお、各所の人にOKをもらってから次のポイントに進んでください。
- (3) 下の右空欄に、各所で指示された内容を日本語で記入して行ってください。

### ルート

スタート: 教室



ゴール: 教室

資料4 ワークシート2

ハンゲル表記のポイント

- (1)ハンゲル表記ポイント名をコピーし、班毎にまわる順番を変えて、前頁のルートの部分に貼って使用してください。
- (2)すべての班のルート表の最後には、「保健室」とハンゲル表記されたものを必ず貼ってください。
- (3)予備カードは他の場所をポイントにする場合に活用してください。

校長室(こうちょうしつ)

職員室(しょくいんしつ)

図書室(としょしつ)

視聴覚室(しちょうかくしつ)

保健室(ほけんしつ)

……予備カード

ハンゲルの「薬カード」

- (1)「薬カード」はコピー後、切り取って使用してください。
- (2)このカードは正式なハンゲル文字で表記されています。
- (3)カードの日本語訳

カード1 = 「カゼ薬」    カード2 = 「胃腸薬」  
カード3 = 「頭痛薬」    カード4 = 「目薬」

カード1

감기약

カード2

위강약

カード3

두통약

カード4

눈약

資料5 ワークシート3

ハングル表記の「指示カード」

- (1)「指示カード」はコピー後、切り取って使用してください。
- (2)予備カードは他の指示を与える場合に活用してください。
- (3)カードの日本語訳

指示カード1 = 「みんなでバンザイする」

指示カード2 = 「みんなで手をつなぎ、円をつくる」

指示カード3 = 「みんなで10秒間目をつむる」

指示カード4 = 「みんなでジャンケンを3回する」

指示カード5 = 「カゼ薬を選ぶ」

指示カード1

指示カード2

指示カード3

指示カード4

指示カード5

予備カード

資料6 日本語ハングル対比表

●ハングル五十音表

あ行	아 あ	이 い	우 う	에 え	오 お
か行	카 か	키 き	쿠 く	케 け	코 こ
さ行	사 さ	시 し	수 す	세 세	소 そ
た行	타 た	치 치	추 つ	테 て	토 と
な行	나 な	니 に	누 ぬ	네 ね	노 の
は行	하 하	히 ひ	후 ふ	헤 へ	호 ほ
ま行	마 ま	미 み	무 む	메 め	모 も
や行	야 や		유 ゆ		요 よ
ら行	라 라	리 り	루 る	레 れ	로 ろ
わ行	와 わ				<b>외 외</b>
			*入 <sup>ハ</sup> リ		*しん
が行	가 が	기 ぎ	구 ぐ	계 げ	고 ご
ざ行	자 さ	지 じ	주 ず	제 ぜ	조 ぞ
だ行	다 だ	지 ぢ	주 づ	데 で	도 ど
ば行	바 ば	비 び	부 ぶ	베 べ	보 ぼ
ぱ行	파 ぱ	피 ぴ	푸 ぷ	페 ぺ	포 ぽ
	카 きゃ		큐 きゅ		쿄 きょ
	샤 しゃ		슈 しゅ		ショ しょ
	차 ちゃ		츄 ちゅ		チュ ちゅ
	냐 にゃ		뉴 にゅ		ニョ にょ
	먀 みゃ		뮈 みゅ		ミョ みょ
	랴 りゃ		류 りゅ		リョ りょ

資料8 「がんばろう」「ただ一つのみち」

私	み	く	も	私	し	さ
の	だ	ら	な	は	よ	れ
う	が	ま	く	あ	う	ま
ち		け	は	ち	ぎ	し
の	ぼ	ず	た	ら	の	た
び	ろ	ぎ	ら	こ	こ	ま
ん	ぼ	ら	か	ち	ま	あ
ぼ	ろ	い	さ	ら	あ	つ
う	こ	な	れ	と	が	う
は	ぼ	私	ま	や	う	よ
、	れ	で	し	す	う	う
ま	ま	も	た	む	に	に
る	し	、	い	み	に	に
で	た	な	い	ま	に	に

さ	せ	十	で	私		
と	お	五	子	は		
や	い	才	も	十		
っ	、	ま	り	一		
た	手	で	ぼ	才		
り	さ	、	う	の		
、	さ	せ	こ	と		
く	な	な	う	き		
わ	か	か	に	に		
き	い	は	行	す		
つ	こ	は	ま	み		
み	に	子	し	こ		
に	え	ど	た	み		
い	さ	も	、	こ		
か	え	と	、	み		

藤岡喜美

い	く	の	い	の	字	し
ま	た	ほ	ら	き	を	き
で	め	し	な	も	か	じ
は	に	い	い	ち	け	学
、	は	の	、	で	る	き
文	文	は	き	い	よ	ゆ
字	字	文	も	っ	う	う
を	が	字	も	ば	に	で
お	ひ	、	い	い	な	こ
ぼ	っ	私	で	す	り	ん
え	よ	が	す	。	、	な
た	う	生	、	お	か	に
、	で	き	私	金	し	文
	す	て	が	も	や	
	、	行	生	、		
		行	き	私		

さ	に	し	だ	に	く	さ
か	さ	た	ば	わ	ら	か
み	れ	。	た	と	し	み
ち	、	文	た	リ	が	ち
を	あ	字	と	の	つ	ろ
こ	ち	を	、	首	づ	げ
ろ	ら	知	は	き	き	お
と	こ	ら	た	し	ま	ち
ふ	ち	な	ら	め	し	る
り	ら	い	く	た	た	よ
ま	と	私	ば	よ	う	う
し	ふ	は	か	う	に	な
た	り	、	り	、	私	い
	ま	ば	ま	は	は	、
	わ	か	わ	、	私	、

